

リッティの舞鶴 ～聖母の小さな運動会～



国際交流員の孫立姉です。

さまざまな事情で学校に行くことができない子どもたちが通う「聖母の小さな学校」というフリースクールがあります。私が初めて学校を訪れたのは今年の9月、子どもたちに対して中国語講座を始める打ち合せのためでした。それは私自身がこれまでに経験したことのない世界との出会いでした。

子どもたちはここで自分と向き合い、学校における生活や進路など、本来あるべき自分の姿を求めて必死で取り組んでいました。また、子どもたちを懸命に支援する先生方から話を伺う中で、私も彼らをもっと理解したい、応援したいと考えるようになりました。

そのような思いもあり、10月の運動会「スポーツフェスタ」に参加しました。大勢のOBや家族が集まり、みんなが笑顔で競技を楽しんだり、声を合わせて応援したりする光景が心に残りました。小さな運動会の中に愛情溢れる温かい大きな「笑顔のパワー」を感じました。その日、皆さんからたくさんの笑顔をプレゼントされ、私自身、心豊かな気持ちで帰路につきました。

これからも笑顔を大切に、中国語講師としてできることに精いっぱい取り組んでいきたいと思えます。

《みなと振興・国際交流課》

図書館だより ～今月のおすすめ本～



新幹線お掃除の天使たち 遠藤功

美しく早く、そして清々しい新幹線の清掃スタッフたち。彼女らが紡ぐ、本当にあった心温まるストーリー。そこには「おもてなしの心」と「最強のチーム力」の原点が見える。経営とは、仕事とは何かを考えさせられる1冊。(東)



闘病記専門書店の店主が、がんになって考えたこと 星野史雄

妻をがんで亡くした喪失感から、闘病記を読むことで救われた著者が、闘病記専門の古書店を開業。これまでの歩みや自らががん患者となった現在の思いがまとめられています。闘病記リストあり。(西)

▶詳しくは、東図書館(☎62・0190) 西図書館(☎75・5406)へ。



ドクターTのひとりごと その⑥ 二元代表制による議会運営と反問権の是非について

地域住民が、知事や市町村長などの首長と都道府県や市町村議会の議員を、別々の選挙で選ぶ仕組みのことを二元代表制といいます。議会では、市長側が提出した議案について議員間で活発な議論が行われた後に、採決が行われるのが本来の地方議会の正しい運営です。代表および一般質問では、共に住民から選ばれた市長と議員が市政について、互いに議論し合い、審議を尽くすべきですが、ほとんどの地方議会では議員が一方向的に質問するのみで、市長側からの質問は許されず、ただ「答える」しかできないのが現状です。市長側から議員への反論やより良い対案の提示を求めることができれば、議会は活性化されると思います。ただ、本格的な反問権(議員へ質問できる権利)を認めた場合に、議員側は回答に苦慮する可能性もあります。もちろん、事前にしっかりと調べて市長側と対等に議論することが必要と思いますが、市長と議員との議論を徹底的に行くと対立構造だけが際立ち、かえって市民のために不利益となり、本来の議会運営からそれてしまいます。これらの課題解決策として、反問権の適切な行使の是非を検討する時期に来ているのではないのでしょうか？

まいづる花図鑑 76

【ヤブコウジ】 (ヤブコウジ科) 見ごろ 11～12月頃



山地の木陰に生える常緑の小形低木。地下茎を伸ばして増え、茎は高さ10～20cmで直立し、葉は茎の上部に輪生状に付く。夏、葉の腋に白色の小花が下向きに咲く。果実は球形で冬に赤く熟し、大きな種が1つ入っている。庭の下の草や正月の床飾などに使われる。名前の由来は、藪に生え、葉などの形が柑子(ミカン)に似ていることから。

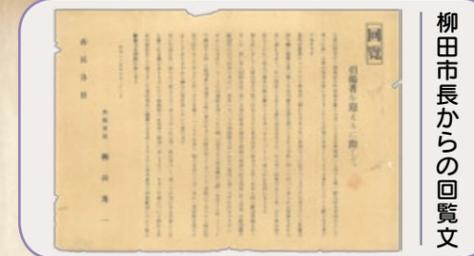
【協力】 瓜生勝朗 市文化財保護委員(植物分野)

「引き揚げ」の記憶を次世代へ

引揚記念館に展示・保管している海外からの引き揚げやシベリア抑留などに関する約1万2千点の資料の中から、今回紹介する資料は「柳田市長からの回覧文」です。柳田氏は3代目の舞鶴市長で、初めて選挙によって選ばれた市長でもあります。

この回覧文は昭和24年6月23日付けで配布されたもので、その年の引き揚げ第一船である高砂丸の入港に際して、市長から市民への協力依頼とこれまでの感謝の気持ちがつづられています。

その内容は、「市の財政が困窮する中で歓迎の看板を設置し、歓迎準備を整えているが、慰問演芸やお茶の接待などに加えて、何よりも大切なのは市民一人ひとりの温い心が通じること。引揚者が駅へと行進するときやトラックで通過するときには、路上であっても田畑で作業中であっても、ハンカチや帽子を振ってもらうことが一番引揚者を喜ばせる。また、入港の回数を重ねるごとに歓迎が次第に寂しくなってしまうように、今後も変わらない気持ちで迎えてほしい」と協力を依頼するとともに、「これまでの市民の援助に対して感謝する」というものです。



柳田市長からの回覧文

当時の舞鶴市民の多くが、引揚船が入港する際には岸壁に立ち引揚者を出迎え、食糧が少ない中で、イモやコメを少しずつ出し合い引揚者に無料で配布するなどしていました。これは、現在のボランティア精神の先駆けともいえます。

また、あるシベリアからの復員兵の手記に、「駅へ向かう途中に畑を耕していた老婆が隊列を組んだ引揚者を見かけると、作業の手を止めて頭に巻いた手ぬぐいを取り、大きく手を振って『おかえりなさい！ご苦労様でした！』と声をかけてくれたことがとても嬉しかった」と記しています。

終戦後、社会が混乱する中であっても多くの舞鶴市民が13年の長きにわたり引揚者を心からもてなし、66万人もの人々を故郷へと見送りました。このことは舞鶴が世界に誇れる歴史の1ページであるといえるのではないのでしょうか。

▶詳しくは、引揚記念館(☎68・0836)へ。

くらしの豆知識④ 運転経歴証明書



「運転経歴証明書」は、高齢などの理由で、車を運転をしなくなった人が警察署へ運転免許証を自主的に返納し、申請することで取得できます(手数料1,000円が必要)。

平成24年4月からは有効期限が廃止され、銀行口座の開設などに必要な身分証明書として永年利用できるようになりました。

運転することが少なくなったり、怖くなったりしても、運転免許証を返納すると、身分を証明するものがなくなり困るという人は一度検討してみたいかがでしょうか。

運転免許証の自主返納、運転経歴証明書については警察署の運転免許証の窓口(舞鶴警察署、☎75・0110)へ相談してみましょう。

▶詳しくは、市民相談課(☎66・1006)へ。



ごみブクロウの『エコな生活ホーホー』教えます!

ごみブクロウ流「エコな冬生活」
ウオームビズ プラス一枚
重ね着で マイナス一度の省エネだ

エアコンの設定温度は 20℃が目安

重ね着やひざ掛けでウオームビズに取り組もう！カーディガンで2.2℃、ひざ掛けで2.5℃も体感温度が上がるというデータもあるよ。

温かくなったら暖房の設定温度を1℃下げ省エネだ！

▶詳しくは、生活環境課(☎66・1005)へ。

【クイズ】数字で分かるごみのこと。これってなあに？ → 47.3% (答えは16%)